

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

autumn 2010
Oct.—Dec.

74

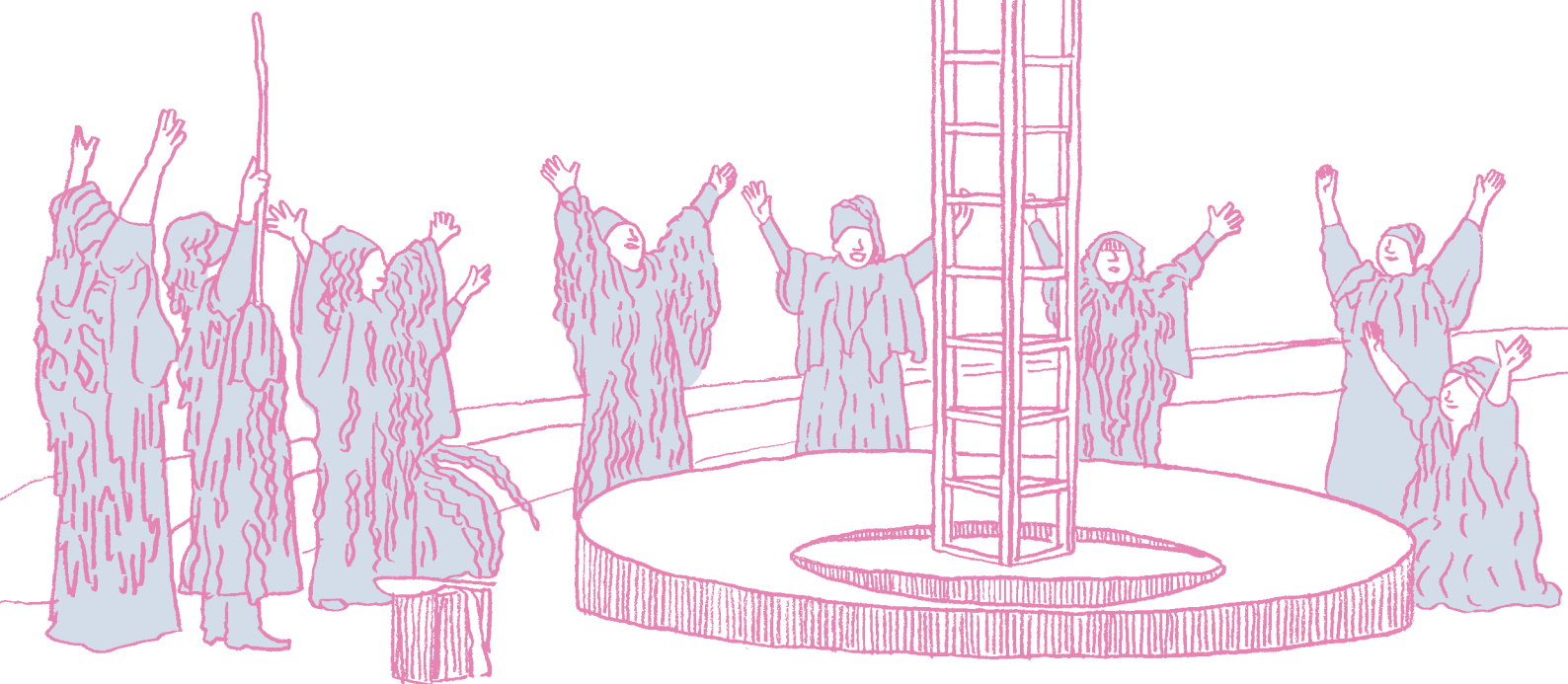


特集

オペラシアターこんにやく座

オペラ「森は生きている」

オペラ 開幕の ベルが鳴る。



特集

03 オペラ開幕の
ベルが鳴る。

オペラシアターこんにやく座
オペラ「森は生きている」

ピックアップイベント

08 音楽をかじって
味わおう!

山口情報芸術センター

中村恩恵×首藤康之「時の庭」/「The Well-Tempered」
コンテンポラリーダンスの魅力に迫る2作品!

カールステン・ニコライ+マルコ・ペリハン「polar^m」
10年単位で行うアートからの環境観測

中原中也記念館

企画展II「中也の住んだ町—中野・高円寺」
出会いと別れを経験、中也の上京物語

山口市民会館

スロヴァキア放送交響楽団
交響曲の名作を堪能できる贅沢な一夜

12 any 通信

- ◎アーティストボイス 三角みづ紀 (詩人・小説家・音楽家)
- ◎お先に試写しました 「バード★シット」「ハロルドとモード/少年は虹を渡る」
- ◎いただきます てしま de ランチ (てしま旅館)
- ◎GOOD GOODS CD Voice Space 「声のまぼろし」
- ◎My Favorite 山本 徹 (山口市民会館 館長)

14 イベントカレンダー 10~12月
INFORMATION

歌い継がれている歌があるように、
大切に上演され続けている舞台作品があります。
「森は生きている」もその一つ。
今日まで半世紀以上もの間、多くの人に愛され、
さまざまな場所で上演されてきました。
明瞭な日本語の歌唱によるオペラを数多く手がけている
劇団オペラシアターこんにやく座が、
この作品に、オペラとしての新しい命を吹き込みました。
こんにやく座にとって代表作ともいえる
オペラ「森は生きている」が今年12月に山口で上演されます。
いざ、オペラの世界へ。

photo:青木司



オペラ開幕の ベルが鳴る。

オペラシアターこんにやく座
オペラ「森は生きている」



オペラシアター こんにゃく座

「森は生きている」の劇中音楽を作り、この作品の誕生から今日までずっと寄り添ってきた作曲家の林光さん。オペラ版「森は生きている」の台本も手掛けた林さんに、作品との出会いやオペラに対する思いを伺いました。

林さんは「森は生きている」と長く関わってこれたと聞きます。まずは作品との出会いについて教えてください。

劇団俳優座が1954年に自分たちの劇場「俳優座劇場」をもつことになり、そのこけら落とし公演をするにあたって上演した2作品のうちの一つが「森は生きている」でした。僕は1948年から始まった「俳優座子どもの劇場」(子ども向けに作られたシリーズ公演)の作曲や、49年にはポーマルシェ「フィガロの結婚」の劇中音楽の作曲をしたりしていました。そういう関係で「森は生きている」の作曲もすることになったんです。

「森は生きている」はもともとロシアで作られたお芝居ですが、どのような内容でしょうか？

作者サミュエル・マルシャークはロシア

の英文学者でシェークスピアの翻訳などをしていました。そして、ロシア革命の直後に政府が作った子どものための本の出版社の基礎を作った人で、自身もたくさんの児童文学を書いた作家です。「森は生きている」はいくつかの民話のモチーフを寄り合わせて作られた作品です。たとえば主人公の娘が色々なじめられたりしますが最後は幸せになるというのは世界中にあるシンデレラストーリーだし、わからずやの女王が森での経験で学んでその後良い君主になる、地位のある者が逆境のなか色々学んで変わっていくという「王子と乞食」のような話も昔からよくある。12の月の精が困っている人間を助ける話、これも世界中にある。そういう色々なものを寄り合わせて作った非常に長い芝居でした。

観終わって客席から出ていく子どもたちが「もえろもえろ…」と歌っていた。それは僕にとって初めての経験でした。

その時の反響はいかがでしたか？

3時間くらいかかると予想していたこの作品は、実際には、初日は3時間半くらいかかったんですね。脚本をあまりカットせずに丁寧にやればそうなるんですけど、その頃でも子ども向けの芝居は1時間が限度だという風説があった。だから初日、関係者はみんな客席で観ているのに、制作の倉林さんだけがそこにいない。劇場のロビーにいて、子どもたちがもたなくていつ出てくるか心配で見ていたんですって。結局最後まで子どもは出て来なかったそうです。僕はもちろん客席にいたので、後から聞いた話ですが、観終わって客席から出ていく子どもたちが「もえろもえろ…」と歌っていた。それは僕にとって初めての経験でした。そういう意味では忘れられない作品ですね。

◎あらすじ 新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が、4月に咲くマツユキ草がほしいと言出したために、国中は大さわぎ。ほうびの金貨に目がくらむ継母のいつつで、マツユキ草を探ってくるようにと一人の娘が真暗な森に追いやられる。そこでは12の月の精たちがたき火を囲んで新年の儀式の最中だった。娘の話聞いた4月の精は、他の月たちに頼んで1時間だけ「時」をゆずってもらう。娘はマツユキ草を手に入れたが、それを渡された女王は、自らマツユキ草を摘むために吹雪の森へと出かけていく。しかし、そこで待ちうけていたものは…。

それだけ歌と音楽が印象に残るお芝居「森は生きている」を、こんにゃく座はオペラに変身させたんですね。こんにゃく座との出会いは？

こんにゃく座は、日本語のオペラを上演したいということで東京芸大の音楽科の卒業生たちによって創立された劇団で、地方の学校を巡回しながらオペラを上演していました。その中に僕の作った短いオペラ作品があった。あるとき「こんにゃく座というところが、お前のオペラ『あまんじゃくとうりこ姫』を盛んに上演しているそうだよ」という話が聞こえてきて、一度観てみたいと思っていました。ちょうど1974年に、僕や武満徹や高橋悠治がやっていた『トランソニック』という季刊誌で、色々な芸能組織を特集しようということになり、「じゃあ、おれはこんにゃく座というのを取材するよ」



「あまんじゃくとうりこ姫」

と言って、北海道・札幌まで観に行っただんです。それをきっかけに1975年にこんにゃく座のための「おこんじょうり」という1幕の短いオペラを書き、以後色々なオペラをこんにゃく座のために書いてきました。

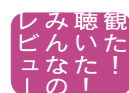
「簡単にすぐオペラにできるでしょう？」と言われれば、「こんちきしょう！」という気持ちになり、それでやることにしました。

「『森は生きている』はオペラになりませんか？」という話がこんにゃく座から出てきたのが91年頃。「あれだけ色々な歌があるのだからつなげればオペラになるでしょう」と。なんたる浅はかな！すでに色々歌と音楽があってそれをつなげて、さも最初から考えて生まれたかのようなオペラにするのがどれだけ難しいか!!なのに「簡単にすぐオペラにできるでしょう？」と言われれば、「こんちきしょう！」という気持ちになり、それでやることにしました。まあ僕は僕でこれを音楽劇にすることは夢見ている、いま考えればそん

な思いがひそかにあって書いたような歌もいくつかありました。たとえば4月の精と娘が会って歌う「一瞬の今を」という歌があるんですが、これなんかはちょうどオペラのある場面を連想させるものであったし…。

オペラ版の「森は生きている」は、林さんが台本も書かれていますね。

さっきも言ったような次第で、もともとあるいくつかの歌をつなげてオペラにするのは大変なこと。人に頼んで「これだけ歌があるからうまく使って書いてよ」とはとても言えないので、台本も自分で書くことにしました。ただ、僕が台本を書いたと言っても基本的にはマルシャークの原作があり、歌はマルシャークが台詞で書いたところを歌詞にできる箇所はそのままに。でもマルシャークの脚本の中にも含まれている、その当時の体制に対するゆるやかな批判、あるいは書かなかったけれどもそういう考えがみえるところは、もっとはっきりさせたいと思ったり。また、どうしてもここに歌が必要だけれども原作にはない、たとえば最後に女王がソリに乗って森へ出かける「森へ向かうソリの歌」など、もとは何もないところに



◎チェロの音色に心が震えました。(20代女性 「ベルリンフィル12人のチェリストたち」より)
◎「徹太郎のひきだし」など視覚的に楽しめる展示が大面白かったです。(20代女性 「河上徹太郎と中原中也」より)
◎迫力のある、それでいて哀愁漂うとても魅力的な作品だったと思います。(男性 ホフエッシュ・シエクター「Political Mother」より)
◎料理もアートだと考えると楽しく調理が出来そうな気がしてきました。(YCAMメディアキッチンvol.11より)



【オペラ】 舞台芸術の一つ。歌唱を中心に、器楽・舞踊を加え、歌手が扮装して演ずる舞台劇。「歌劇」とも呼ばれる。16世紀末から17世紀初めの頃にイタリアで生まれ、その後世界各地に広がる。



僕の作曲生活の
ほとんど大半を
この作品とともに
過ごしています。

もっと
知りたい!
“こんにやく座”

林光 HAYASHI Hikaru

1931年東京生まれ。75年より、オペラシアターこんにやく座
芸術監督兼座付作曲家。主なオペラ作品「おこんじょうり」
(1975)、「白黒の輪」(1978)、「セロ弾きのゴーシュ」(1986)、「森
は生きている」(1992)、「変身」(1996)、「吾輩は猫である」(1998)
など。著書に『日本オペラの夢』(岩波新書)、『ゴーシュの仕事
場』(一ツ橋書房)など多数。

歌を入れたり、そういった形でいくつか
の新しい部分を含みながら書きました。
初演のとき、もう亡くなられた千野栄一
さんというチェコ語の大家で言語学者の
方を誘ったら観に来てくれました。千野
さんは「会場に行ったら、こりゃ子どもの
運動会で大変だよと思った。なのに、舞
台が始まったらみんなおとなしく観てい
るから、2度びっくりした」と言っていま
した。そんなふうにして92年に初演を迎
え、現在もこんにやく座のレパートリーと
していろんな場所で上演され、役者が変
わりながらずっと続いています。

オペラは
上演されることによって
育っていくところがある。

2005年に演出が新しく変わりましたが、
どのように作品が変化しましたか?

オペラは上演されることによって育つて
いくところがあります。それは無駄がなく
なったり、必要な無駄がでてきたりもす
るし、役者もどんどん変わっていく。1人
1人の役者の技量もあるし、肌合いの違
いもある、相手役との関係もあるし、そ
ういうことから作品が違ってることがあ

ります。でも一番ははっきり変わるの
は演出が変わったときです。最初は岡村春彦
さんの演出で長らく上演してきたので
すが、やはり同じ演出家で長くやるとど
っかでマンネリになってしまう。いくらマ
ンネリにならないように心を入れ替えて
一生懸命やろうと決意してもダメなわけ
で、それは演劇、芸能の生理だと思うん
です。そこで文学座の高瀬久男さんに新演出
をお願いしました。初演はできたばかり
の作品で、モデルが何もなく作るけれど
も、新演出はもともとあった作品をより深

大きくなって口ずさむ「森は生きている」 臼井裕貴子 (NPO法人こどもステーション山口 事務局長)

こんにやく座の「森は生きている」に出会ったのはもう10年以上も前、県内
のあるホールでした。ロシアの古い原作だと聞いていたのに、こんにやく座の舞
台はモダンでシンプル、また透明感のあるライティングやしゃれた衣裳も印象
的で少レドキドキしました。

オペラといってもこんにやく座のは、あの朗々と歌い上げるオペラではなく、
ことばの意味とセリフの気持ちをはっきりと伝えてくれるのがうれしいので
す。またそのおかげで、すなおに「森」の中に分け入って、ゆたかな思いにたっ
ぷりとひたれたように思います。

毎年12月、全国のどこかのホールで上演され続けてきた「森は生きている」。

古くて新しいこの作品を、いつか山口のみならず肩を並べて観ることができ
たら、と思ってきました。それがようやくこの12月、夢がかなうことになりました。
公演の実現が決まったある日、山口市文化振興財団のある職員さんにそのこ
とをお話したら、「おぼえていますよ、♪もえろ、もえろ、あざやかに…という焚
火のシーンの歌。小さいときに観ましたから。山口でも上演されるんですね!」
とうれしい声を返してもらいました。今回もたくさんの山口の子どもたちが、
大きくなって口ずさむことのできる名曲にであうことでしょう。

時は12月、この舞台との出会いが、子どもたちに何よりのクリスマス・プレゼ
ントになりますように。

こんにやく体操+オペラ=こんにやく座?

“こんにやく体操”は体の基礎づくり

東京芸術大学の体育教官・宮川睦子先生が授業で教え提唱した
体操。体をきちんとするのではなく柔らかくするのを目標に考案さ
れ、その動きがこんにやくに似ているところから“こんにやく体操”
という名前がつけました。いまでもこんにやく体操はこんにやく
座の基礎訓練の一つ。また、子どもたちにこんにやく体操を教え
るワークショップも行っています。



「森は生きている」稽古風景(1992年)

こんにやく座が誕生

オペラシアターこんにやく座の創立は1971年。劇団の名前は、上
記の東京芸術大学の声楽科の学生たちが宮川睦子先生の指導
のもとに作ったこんにやく体操ゼミからとり、卒業生の何人がか
が集まって日本語で上演するオペラの劇団として設立。当時、宮川
先生からは「そんな変な名前は受けないからやめなさい」と言わ
れたのだとか。現在、団員約45名で活躍中。

日本語によるオペラを作ってそれを広めたい

他国の言語ではなく日本語による歌唱表現を追及した新しい日本のオペラの創造と普及を目的に、
小・中・高校生を対象にキャンピングカーで移動しながら全国各地を巡回する公演を開始。その後、林
光さん作曲の作品「おこんじょうり」など多数のオリジナル作品を上演し、レパートリーを増やして
いきます。「森は生きている」はそのなかでも代表作の一つ。

く読み直し、作り変えることができる。大
体、日本のオペラというのはそうなる以前
の初演で終わってしまうことがほとんど。
なのに、「森は生きている」は少なくとも2
つの演出を経験しています。名作といわ
れるオペラ作品「カルメン」にしろ「フィ
ガロの結婚」にしろ、何百年ずうと上演
され続け、そのたびに違う読み替えがあ
り、それを繰り返しながらオペラは完成
に向かっていくものです。オペラ「森は生
きている」にもそういう展望をみることが
できたというのは僕にとっては嬉しいこ
とです。

林さんにとって、オペラ「森は生きている」
とは?

「森は生きている」は、僕にとってはもとも
との(劇団俳優座の)「森は生きている」も
あって、そこから切り離すことはできませ
ん。俳優座の芝居のために僕が作曲をし
たのが23歳のとき、そしてオペラにした
のが61歳。僕の作曲生活のほとんど大半
をこの作品とともに過ごしています。そ
ういう意味でこの「森は生きている」には特

別な感慨があります。

だまされたと思って
一度観に来てください

最後に、山口の読者に向かって、メッセ
ージをお願いします。

友達や知り合いに「オペラを観に来てよ」
と言うと、「オペラだけは勘弁してくれ」と
いう人が大勢います。そういう人たちには
「まあ、だまされたと思って一度観に来て
ください」と言っています。そうすれば絶
対に面白いから。

ヨーロッパはどこでも劇場があって、子
どものときからオペラに連れて行っても
らっている。難しい作品も観るし、子ども
のための興行も観る。そして家に帰ると自
分たちで観た作品をまねてやってみたり
する。そのうち、そのなかで作曲をする子
が出てきたり、自分で本を書いたりして、
家族をお客にして観せたりするんです
ね。日本でもオペラによって同じようなこ
とがもっとどんどん増えていくことを期待
しています。

オペラシアターこんにやく座
オペラ「森は生きている」

2010年12月18日(土) 18:00開演
(30分前開場)

会場:山口市民会館 大ホール

[チケット情報] any会員先行予約 10月9日(土)~
一般発売 10月16日(土)~

[料金]全席指定 ※4歳以上有料
前売 一般 3,500円 any会員 3,000円
こどもステーション山口会員 無料
当日 4,000円

関連イベント

こんにやく風オペラワークショップ

2010年11月7日(日) 14:00~

会場:山口市男女共同参画センター 視聴覚室

オペラシアターこんにやく座の歌役者とピアニストが事前に山口
にやって来て、体操+歌のワークショップを開催。歌を歌う楽しさ
を味わってみませんか?(本誌P8参照)

[料金]500円(要申込)



PRESENT

「森は生きている」の
公演チケットやCDなどを
プレゼントします。

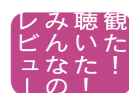
【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明
記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連
絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、10月31
日(日)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailで
ご応募ください。

A オペラシアターこんにやく座
オペラ「森は生きている」
公演チケット(ペア5組)

B CD
オペラ「森は生きている」[ピアノ版](1名)
オペラ「森は生きている」
(1992年)をライブ録音
した2枚組CD。「森は
生きている」の中に登場
するすべての曲が収録さ
れ、舞台の様子も音から
見えてくる。



【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7
(財)山口市文化振興財団
「any vol.74 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@yfcfp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



●正面にかざっていた大きな絵で受賞者のつくる世界がよりあらわされていたと思う。(30代女性 「第15回中原中也賞」より)
●何度もアンコールに応じてくださってありがとう。
●「荒城の月」を口ずさみながら七夕にふさわしく、空を見上げて帰ります。(70代女性 「ベルリンフィル12人のチェリストたち」より)
●河上氏を通して見る中也像を発見することができた。(30代女性 「河上徹太郎と中原中也」より)



●食を通して豊かになる方法はたくさんあって、自分の工夫でもっと楽しくなるというヒントをいただきました。(「YCAMメディアキッチンvol.1」より)
●ダンスはもちろん、パーカッションやギターの素晴らしい演奏に感動しました。(10代女性 ホフェッシュ・シェクター「Political Mother」より)
●本物のチェロの演奏は人生で初めてでしたが、最高な時間と知識をいただきました。(40代男性 「ベルリンフィル12人のチェリストたち」より)
●中也賞受賞者の詩を知ることが楽しい。(40代男性 「第15回中原中也賞」より)



都響金管メンバーによる「金管5重奏ミニコンサート」(2009年)の様子

かじって音楽を 味わおう!

音楽がちょっと苦手というあなたも、
この秋、anyがおススメするイベントで
音楽をかじって、その楽しさを味わってみてはいかがでしょうか。
オーケストラで活躍する演奏家のミニコンサートを聴いたり、
ピアノ演奏にあわせて一緒に歌を歌う
ワークショップに参加すれば、
味わい深い音楽の世界への扉が開く!



都響金管メンバーによる「金管5重奏ミニコンサート」(2009年)の様子



オペラシアターこんにやく座「どんぐり」と山猫」WSの様子

ブラスの音色を楽しむミニコンサート

10月24日(日) ①13:00~ ②15:30~
会場:山口情報芸術センター ホワイエ

[料金] 無料(申込不要)

東京都交響楽団の金管メンバーが昨年の夏に引き続き、山口に登場。トーク付きの楽しいコンサートを行います。クラシックの名曲や、みんなが知っているアニメやミュージカル曲が、ブラスの心地よい音色とともに楽しめます。

こんにやく風オペラワークショップ

11月7日(日) 14:00~
会場:山口市男女共同参画センター 視聴覚室

[講師] オペラシアターこんにやく座歌役者とピアニスト
[料金] 500円 [対象] 小学生以上(小学3年生までは保護者同伴)
[定員] 30名(要申込) ※申込方法はお問い合わせください。

特集ページでご紹介したオペラ「森は生きている」の関連企画。心と体を柔らかくする「こんにやく体操」を体験した後、「森は生きている」の中に出てくるたくさん魅力的な曲を、ピアノ伴奏に合わせて一緒に歌います。

山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

中村恩恵×首藤康之 「時の庭」/「The Well-Tempered」

2010年10月3日(日) 14:00開演
会場:スタジオA

コンテンポラリーダンスの魅力に迫る2作品!



「時の庭」(神奈川県民ホールギャラリー、2010) ©MITSUO

クラシックバレエを起点に、世界的に著名な振付家のもとで、それぞれに経験を積んできた中村恩恵と首藤康之の優美で洗練されたダンス2作品を上演します。有限の肉体と無限の魂の出会いから生じる、多くの矛盾や苦しみ、葛藤を描く「時の庭」には、ダンスカンパニーNoism発足から2008年まで、主力メンバーとして活動した気鋭のダンサー、青木尚哉も出演。静かな空

間に存在する2組の対照的なデュオが魅力です。「The Well-Tempered」は、古典調律の一つの方法を人間社会になぞらえ、不協和音やひずみに耳をすますこと、そして他者に対する寛容の大切さがテーマの作品。J.S.バッハのピアノ曲を背景に、振付の成り立ちから音楽と身体との関連性を感じさせます。今後の活躍がますます期待されるダンサー、振付家の圧倒的なテクニックと、多様なダンスの魅力を存分にお楽しみください。

わたしはココに注目する!

クラシックバレエをもとに鍛錬された出演者たちの身体の動きは、指先にも緊張感が満ちています。肉体が生み出す美しさ思わずため息が出る、そんな瞬間をご覧ください。

チケット情報 発売中
料金 全席自由 前売 一般 3,000円 any会員/特別割引 2,700円 25歳以下 2,000円
当日 3,500円

カールステン・ニコライ+マルコ・ペリハン 「polar^m (ポーラーミラード)」

2010年11月13日(土)~2011年2月6日(日) 10:00~19:00
会場:スタジオA

10年単位で行うアートからの環境観測



「polar I」(ヒルサイドプラザ、東京、2000)

アーティスト・サウンドミュージシャンとして国際的な活動を続けるカールステン・ニコライとスロヴェニアのアーティスト、マルコ・ペリハンが10年単位の長期スパンで、地球環境と情報環境の定点観測を行うプロジェクトを再始動。東京で発表された前作「polar I」では、ネットワーク上に開発した独自の検索エンジンで、環境としての地球の存在を様々な情報から観測し、そのプロセスを映像と音で表現しました。それから10年、情報技術の

飛躍的な進歩に伴い、人間の感覚や知覚も変化する現代において、多様な環境を探索する新たなアプローチを試みます。ぜひ会場で情報ネットワークとしての地球を体感してください。

わたしはココに注目する!

音響映像コンサートパフォーマンス
「raster-noton evening」
オープニングイベントとして、カールステン・ニコライが主宰するレーベル「raster-noton」と豪華ゲストを迎えてライブを開催します。池田亮司とのユニットcyclo.も出演予定!

2010年11月13日(土) 19:00開演
会場:スタジオB (限定250名/オールスタンディング)
[チケット情報] 発売中
[料金] 前売 一般 3,000円 any会員/特別割引 2,700円
当日 3,500円

料金 | 無料

- 特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学時入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

mini PICKUP!



前回(6/12)の「YCAMメディア・キッチン」の様子

YCAMメディア・キッチン vol.2 「からだに訊くテクノロジー」

2010年10月23日(土)
15:30~17:00
会場:山口情報芸術センター
ホワイエ

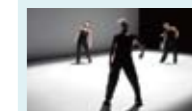
メディア表現に対する理解をより深めることができるレクチャーシリーズ「YCAMメディア・キッチン」。前回の「食」に続いて、第2回目となる今回は「衣」がテーマ。人が衣服を着るように、身につけられる装置やそれに関する技術を利用しているアーティスト・研究者のダニエル・ワイルドを講師に迎え、刺激的なレクチャーを行います。

[料金] 無料
[講師] ダニエル・ワイルド
(アーティスト、研究者)
[定員] 70名(要申込・先着順)
※申込方法等詳細はお問い合わせください。

先行チケット
発売情報
早チケ 12月4日
発売!

梅田宏明 新作ダンス公演

2011年2月19日(土) 19:00開演
20日(日) 14:00開演
会場:山口情報芸術センター
スタジオA



「1.centrifugal」(2009、振付:梅田宏明) photo:Shin Yamagata

ダンスのみならず、音響、照明、映像を自らデザインする振付家・アーティストの梅田宏明が、この冬、YCAMで新作を発表。YCAMの技術スタッフとともに、アイデアを発展させながら、新たな舞台表現を追求します。新作発表の前には、滞在制作の様子が見学できるバックステージツアーや、梅田宏明によるワークショップも開催。あわせてお楽しみください。

[チケット情報] 12月4日(土)~
[料金] 全席自由
前売 一般 2,800円
any会員/特別割引 2,500円
25歳以下 2,000円
当日 3,300円

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展Ⅱ

「中也の住んだ町—中野・高円寺」

2010年10月6日(水)～2011年1月23日(日)

出会いと別れを経験、中也の上京物語



中原中也21歳

中也は1925(大正14)年、中野駅近くに家を借り、恋人の長谷川泰子と暮らし始めます。その後、引っ越しを繰り返しながらも、中野・高円寺近辺に約3年半住んでいました。その間、友人・富永太郎の死、泰子との離別といった、悲劇的な出来事が立て続けに起こった一方で、生涯を通して交遊を続

けることになる河上徹太郎や大岡昇平ら友人たちとの出会いや、代表作「朝の歌」の制作など、詩人として本格的に始動した時期でもありました。本展では、中野・高円寺に住んでいた18歳から21歳までの中也を中心にご紹介します。また、井伏鱒二らが中心となって結成された文士の集い(阿佐ヶ谷会)などを通じて、中央線沿線の文学者群像についてもご紹介します。

わたしはココに注目する!

今の中野や高円寺は、新しい感性の店が立ち並び大きな街ですが、中也が移り住んだ頃は、田園風景が広がる郊外の新興住宅地でした。上京してまもない若者・中也の東京奮闘記。ぜひご覧ください!

入館料 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高生 150円(105円)

※70才以上は無料 ※()内は20人以上団体料金 ※あわせて常設テーマ展示もご覧いただけます。

検定 中也

Q 中也は引越し魔であること知られています。気に入った友人ができる、その友人宅の近くに引越し、朝夕を問わず連日のように押しかけたそうです。「おととい泊まって、昨日の朝帰ったと思うと、今日又来るのだからねえ」と友人のひとり・青山二郎は語っています。1925(大正14)年、18歳で上京し、1937(昭和12)年、終の棲家となった鎌倉へ転居するまで、中也はおよそ12年間を東京に暮らしました。では、東京暮らし12年の間に、一体何回引越しをしたのでしょうか?

- 1 8回
- 2 12回
- 3 17回

答えは14ページ

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

スロヴァキア放送交響楽団

2010年11月4日(木) 19:00開演

会場:大ホール

交響曲の名作を堪能できる贅沢な一夜



スロヴァキアの首都ブラチスラヴァを拠点に活躍する中欧屈指のオーケストラ「スロヴァキア放送交響楽団」。1929年にスロヴァキア放送が運営するオーケストラとして設立されて以来80年以上の間、世界中で公演を重ね多くの聴衆を魅了してきました。94年、97年には来日公演も行い、全国各地で絶賛され高い評価を得ました。そんなスロヴァキア放送交響楽団がこの度13年ぶりに日本にやって来て、その美しいハーモニーを再び聴かせてくれます。

指揮するのは、現在のスロヴァキア放送交響楽団の

首席指揮者であり、またスロヴァキアと隣国チェコにおいて、次代を背負って立つと有望視されている新鋭のマリオ・コシック。演奏する曲は、シューベルトの「未完成」、ベートーヴェンの「運命」、ドヴォルザークの「新世界より」といった、名曲プログラムをお届けします。

わたしはココに注目する!

何とんでも演奏プログラムにご注目! 誰もが迫力あるオーケストラの演奏で聴いてみたいと思うクラシック音楽の人気ベスト3「未完成」「運命」「新世界より」。それらが一度に堪能できるこのコンサートを聞き逃す手はない!

チケット情報 発売中

料金 全席指定 一般 S席 8,000円/A席 6,000円/B席 4,000円 ※any会員は一般料金より各500円引

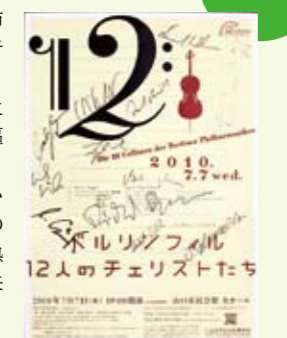
イベントレポート

「ベルリンフィル12人のチェリストたち」



去る7月7日に山口市民会館の大ホールで行われた「ベルリンフィル12人のチェリストたち」。世界最高峰と謳われるベルリンフィル・メンバーの演奏がここ山口で聴けるとあって、多くの方にご来場いただきました。アンコールは計3回も行われ、鳴り止まない拍手と多くの人のスタンディング姿に、12人メンバーも感激していた様子でした。熱気と余韻が残るなかで幕を閉じた本コンサート。ここでは、実際にご来場いただいたみなさんの声をご紹介します、その感動をお伝えします。

- 「チェロでここまで多彩な音が出るのかと驚きました。」(10代女性)
- 「12人にまず圧倒され、生音にぞくぞくとした。」(20代女性)
- 「重層的で洗練された音で、世界中を巡るような夢心地にさせられました。」(女性)
- 「チェロの歌うような出だしにもううっとり。」(60代女性)
- 「一つの楽器が幾重にも重なり、様々なハーモニーが奏でられてとても気持ち良かったです。」(20代女性)



今号を読まれた方の中から抽選で、「ベルリンフィル12人のチェリストたち」メンバーによるサイン入りポスターを2名様様にプレゼントします。

※応募方法は本誌P7「読者プレゼント」を参照ください。

ホールに おいでませ

第23回山口市おかあさんコーラス演奏会

2010年12月11日(土)

13:30開演

会場:山口市民会館 大ホール



おかあさんの温もりと、手作りの演奏を続けて今年で23年。仕事や家事の忙しい日々の中、歌にも打ち込み、練習を重ねながら毎年この演奏会を楽しみにしてきました。今回のキャッチフレーズは「おかあさんの歌声は地球を優しくつつみます」。演奏会に向けて各合唱団が創意工夫を凝らし、皆様に素晴らしい演奏をお聴かせします。聴衆のみさんの笑顔と暖かい拍手があれば歌う方も笑顔になれるし、そして元気をもらいます! ぜひ当日私たちの演奏会にお越しください。そして、心温まる音楽と一緒に分かち合いまししょう。

(山口市おかあさんコーラス演奏会実行委員会)

[料金] 無料

[問い合わせ]

山口市おかあさんコーラス(松岡)

TEL.083-932-6438

mini PICK UP!



山崎まさよしコンサート

2010年12月7日(火)

18:30開演

会場:山口市民会館 大ホール

1995年に「月明かりに照らされて」でデビュー、その後初主演映画「月とキャベツ」とともに「One More Time, One More Chance」が大ヒットし、一躍その存在を大きなものにした山崎まさよし。日常的なひとコマを繊細に切りとった歌詞や柔らかな歌声、アコースティックギターや弾き語りやバンドなど、独自の音楽スタイルで多くのファンを魅了してきました。今年デビュー15周年を迎え、記念の全国ライブツアーでは山口にも登場! 熱いライブにご期待ください!!

[チケット情報]

any会員先行予約 10月9日(土)～

一般発売 10月24日(日)～

[料金] 全席指定 一般 5,775円

中也を味わおう

あばずれ女の亭主が歌った

おまへはおれを愛してる、一度としておれを憎んだためしはない。おれもおまへを愛してる。前世からさだまつてゐたことやう。

そして二人の魂は、不識に温和に愛し合ふもう長年の習慣だ。

それなのにまた二人には、ひどく浮気な心があつて、いちばん自然な愛の気持を、時にうるさく思ふのだ。

佳い香水のかほりより、病院の、あはい匂ひに慕ひよる。

そこでいちばん親しい二人が、時にいちばん憎みあふ。

そしてあとでは得態の知れない悔の気持に浸るのだ。

あ、二人には浮気があつて、それが真実を見えなくしちまふ。

佳い香水のかほりより、病院の、あはい匂ひに慕ひよる。

「解説コメント」

この詩は、中也の第2詩集『在りし日の歌』に収録されています。初めは1936年11月発行の雑誌「歷程」第2号に発表されました。「新編 中原中也全集」の解題で、この詩の題名は詩集の中で最も俗的な表現とされています。中也は既に孝子と結婚しており、息子の文也を可愛がっていた時期ですが、この詩に歌われているのは、恋人だった長谷川泰子への思いのように読めます。この詩に歌われているような心情は、誰もが理解できるのではないのでしょうか。〈佳い香水のかほりより〉／病院の、あはい匂ひに慕ひよる。健康的な、正統なものだけでなく、少し逸れた、病的なものへの憧れは、誰でも一度は持つものです。また、〈いちばん親しい二人が、／時にいちばん憎みあふ〉という逆説のようなことにも、皆、心当たりがあるのではないのでしょうか。

●いつも作るものを書くといったことがあまりないので、手順をたどることが楽しかったです。(17代女性 ICAMメディアキッテンvol.11より)
●様々な国の人々がダンサーとして踊っていてとても面白かったです。(20代女性 ホフェッシュ・シェクター「Political Mother」より)
●友人との関わりを見ることで、中也の姿が立体的になった。(20代女性 「河上徹太郎と中原中也」より)
●大変迫力のある舞台で、言葉はなくとも、感じるモノが多かったです。(30代女性 ホフェッシュ・シェクター「Political Mother」より)

any通信

あきない魅力が詰まった秋、
嬉しい季節の訪れです。



会期終了迫る!

前号(vol.73)の特集でご紹介した中原中也記念館の特別企画展「河上徹太郎と中原中也—その詩と真実」が去る7月23日にオープニングを迎え、当日は朝から多くの関係者、報道記者、一般の方にお集まりいただきました。テープカットの後は、前号のインタビューに登場した企画担当者の藪田さんが、展示の解説を丁寧に行い、室内の温度がちょっと上がったのでは?と思われるぐらい熱のこもっ



た説明にみなさん聞き入っていた様子でした。そんな華々しいオープニングを迎え、夏休み期間中も多くの来場者が訪れた特別企画展は、10月3日で終了となります。岩国の名家出身の評論家・河上徹太郎の業績と中原中也との交流を紹介し、新資料も展示されているこの企画展を「まだ観ていない!」という人は、急いで中原中也記念館へ!!

舞台裏を体験する探検ツアー

夏休み期間中に行われたYCAM探検クルーズ。普段は足を踏み入れることができないYCAMのステージ裏をのぞけるこの企画に計100名近くの方が参加し、ツアーを楽しまれていました。夏休みをテーマにした5分間の短い演劇を観た後、3班に分かれて、舞台機構・照明・音響・映像といった舞台スタッフのブースをめくりながら、舞台をぐるっと周遊。

それぞれの仕事の話聞きつつ、実際に機材に触ってその効果を体験しました。最後は、YCAMで現在開催中(10月17日まで)の展覧会「CLOUD FOREST」をみんなで鑑賞して終了。YCAMがどのような機能を持ち、そこにいる人たちがどんな仕事をしているのか、YCAMの裏も表も十分に知っていただいた2日間だったのではないのでしょうか?



お先に
試写し
ました

「バード★シット」

(1970年/アメリカ/105分/カラー)
【監督】ロバート・アルトマン 【出演】バッド・コート、サリー・ケラーマン

「ハロルドとモード／少年は虹を渡る」

(1971年/アメリカ/91分/カラー)
【監督】ハル・アッシュビー 【出演】バッド・コート、ルース・ゴードン

現在も多くの映画ファンにカルト的人気を誇る70年代のアメリカ映画がスクリーンに蘇った。どちらも映画関係の書籍でタイトルを目にしたことは確かであったが、鑑賞の機会もなく、仕方ないと思っていたので、今回の公開はまさに朗報だった。この機会を逃してはならないので勿論、上映!

まず、「バード★シット」は、風刺やパロディ満載のブラック・ユーモア。前作「M★A★S★H」大ヒットの勢いによってアルトマン監督の演出が炸裂!登場人物も妙な癖のある人物ばかり。次から次へと起こっていく殺人事件の死体には何故か鳥の糞が付着…。劇中のちょっとした演出に含み笑いがとまらない!そんな中でむかえる結末への展開はなんだかちよっぴり切なく、あのギリシャ神話を思い出した。「ハロルドとモード」は、風変わりな19歳の少



【バード★シット】



【ハロルドとモード／少年は虹を渡る】

年が79歳の人生を謳歌している老婦人と知り合い成長していくのだが、なんと彼女の素敵さに少年がどンドン惹かれていき、恋におちる…。カメラも音楽も本当に素晴らしくて、結末では言葉にすると、青春だとか成長だとか、生きる意味だとか色々な語彙が浮かぶけれど、これは言葉にあえてする必要はない。東京では上映終了後に拍手が起こったというのも納得。

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2010年12月17日(金)～19日(日)

※上演開始時間はお問い合わせください。

会場:山口情報芸術センター スタジオC

【料金】一般1,200円 any会員/学生1,000円
ジュニア(18歳未満)/シニア(65歳以上)
障がい者/介護の同行者1名800円

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

三角みづ紀 (詩人・小説家・音楽家)

今年で15回を迎えた中原中也賞。受賞された方はみな、その後も詩人、小説家など表現者としてその感性に磨きをかけ、大いに活躍されています。第10回目の受賞者三角みづ紀さんもその一人。受賞後も山口を時々訪れている三角さん、山口に惹きつけられる理由とは?

山口の空気にのまれたくて



山口の風景を思い返せばそれはいつも初夏の陽気です。まだ4月だということにかんかんとした照りとさやかな風。私が初めて山口を訪れたのは、6年前、中原中也賞をいただいた23歳の初夏のような陽気の4月。東京から飛行機であつという間に到着し、授賞式の緊張から逃れられずに、それでも穏やかな空気を吸いこんで、この土地で生まれた中也の詩はそりゃあ中也のことばになるだろう、とあつけにとられたのです。文筆

を生業にして、ペンと紙があればそれで作品を残せる私たちは土地に強く影響されます。中也の尋常ではない狂気をとまなう詩を彩るほんのりあたたかい穏やかな空気は、あのかんかんとした照りとさやかな風であるのだと、中也の墓に手をあわせ、その後も何度も山口を訪れました。わずかでもその空気にのまれたいという感覚。

11月に、山口を再び訪れ、朗読と唄のステージを行います。11月の山口はどのような空模様でどのような風でありましょうか。まだ触れたことのない11月の山口の空気に、のまれる私のことばはまた変化するにちがいないのです。

企画展「第10回中原中也賞」

2005年4月19日～5月29日
会場:中原中也記念館



中原中也賞第10回目の受賞作品として選ばれた三角みづ紀の詩集「オウバアキル」と、彼女の他の詩集あるいは身の回りの愛用品などによって、

詩人・三角みづ紀の世界を紹介する企画展を開催した。現在は執筆活動にとどまらず、詩の朗読や歌など、パフォーマンスや音楽活動にまで活躍の場を広げる三角だが、ここでは、誕生したばかりの1人の若い詩人を多くの方に紹介し、彼女の詩の原点を伝える展示となった。

三角みづ紀 MISUMI Mizuki

1981年鹿兒島生まれ。詩人、小説家、音楽家。22歳で第42回現代詩手帖賞受賞。処女詩集「オウバアキル」で第10回中原中也賞受賞。「カナシヤル」で歴程新鋭賞、南日本文学賞を受賞。近著に「錯覚しなければ」(思潮社)、「骨、家へかえる」(講談社)。2008年秋より朗読や唄のステージをはじめ、2010年9月にファーストアルバム「悪いことしてしまいました」をベルメゾンレコードより発売。11/21(日)・22(月)には山口市内2カ所にてライブパフォーマンスを行う予定。

My Favorite

歌舞伎の化粧くまどり隈取が意匠してあるお手製の「釘箱」。市民会館の開館時から舞台を担当し、後の館長でもある福田祥さんの作。会館初期、舞台を駆けまわり、文化団体をはじめ利用者の方達と一緒に舞台を作った。釘箱はその頃のもの。舞台への気持ちや暖かさが伝わる。来年は開館40周年。今も舞台下手にある。

山本 徹 (山口市民会館 館長)



いただきます



てしま de ランチ
3,800円のコース

洗練されたおもてなしが味わえる。

7年前の改装後、様々なメディアで紹介され、いまでは美食の宿としても評判の高い「てしま旅館」のランチに潜入!旬の食材を使った先付に始まり、前菜は見た目も鮮やかなスモークサーモンのずんだ和えなど美しく盛り付けられた5品が登場。続いての本日のお造り、鯛のカルパッチョは、贅沢な厚さの鯛にソースと醤油ジュレが絶妙で、シャキシャキ野菜との相性も抜群です!!穴子のお寿司、豚のしゃぶしゃぶ鍋、魚介のエキスタっぷりの炊き込みご飯と赤だしへと料理は続き、食後のデザートとコーヒーが出るころには、お腹も気持ちも幸福感でいっぱい。厳選された食材の良さはもちろん、より美味しく工夫された料理の盛り付けや器、洗練されたしつらえなど随所におもてなしの心を感じます。(any会員限定の特典あり)

「てしま旅館」

山口市阿知須7418-8 TEL.0836-65-2248
ランチ営業時間:11:30～14:00(完全予約制) 水曜休み
※ディナーコースもあり、お問い合わせください。

GOOD GOODS



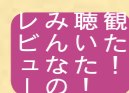
CD

Voice Space「声のまぼろし」

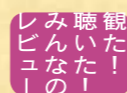
音楽で楽しむ、現代詩人と中也の世界

東京芸術大学音楽学部の学生、院生、卒業生を中心とした現代詩と音楽の融合を追求するグループ「Voice Space」がこの2月にCDを発売。山口に1週間滞在し録音した9曲と東京での2曲を収録。詩人・谷川俊太郎と佐々木幹郎、そして中原中也の詩が美しいメロディーによって、心により深く響き渡ります。詩人たちが紡いだ言葉に音楽の魅力を加えた。新しい詩の世界が広がるお薦めの1枚、中也記念館の受付でも販売中です。また、11月3日(水・祝)に山口県教育会館で開催される音楽イベント「声のまぼろし」に「Voice Space」が出演!ぜひ会場でも詩と音楽のコラボレーションに浸ってください。

価格:2,000円(税込) 11曲収録/2010年



●食の視点のとらえ方が面白く、また試食が楽しめた。(YCAMメディアキッチンvol.1より)
●最高のメンバーとすばらしい曲目、楽しませて頂きました。(50代男性「ベルリンフィル12人のチェリストたち」より)
●中原中也という人物を語る際に小林氏は非常に多くの部分で語られるが、河上氏自体にはあまり特集されているものを知らなかったのが良かったです。(20代男性「河上徹太郎と中原中也」より)



●息をするのをすっかり忘れてしまうほど良かったです。チェロだけであんなに多彩な音が出せるのに驚きました。(10代女性「ベルリンフィル12人のチェリストたち」より)
●初めてダンスの公演を見たのですが、とても心に響きました。(40代女性「ホフェッシュ・エンター「Political Mother」」より)
●美術、アートに関しては、あまりふれる機会がないと思っていたが、食と結びということを知りてなるほど!と思いました。(YCAMメディアキッチンvol.1より)
●河上徹太郎のエッセイ、音楽評をよく読みました。中也とその周囲にいた人達(小林秀雄など)から、白洲正子などに続くのですね。(70代女性「河上徹太郎と中原中也」より)

オペラ 森は生きている



財団法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

オペラシアター
OPERA THEATER KONNYAKUZA
こんにゃく座